

意アル態度ヲ誠實ニ感謝ス

猶太人民會各代表會議ハ歐洲數ヶ國ニ於テ猶太人カ自己ノ民族權ノ爲メニ闘争シ又「ソ」聯邦ニアリテハ一切ノ人權力蹂躪セラレ猶太宗教ヲ悉ク絶滅シ並猶太人ノ教育ヲ迫害シツツアル時滿洲國及日本カ世界ノ先進國トシテ猶太ノ宗教民族性並歴史の傳統ヲ尊重シ猶太人ノ民族的生活及獨特ナル文化發宣ノ可能ヲ猶太居留民ニ與フル公平ナル政策ヲ行ヒツツアルコトヲ銘感ス

又或ル若干ノ國ニアリテハ猶太人ニ對スル人權輕視セラレツツアル現今日本及滿洲國ニアリテハ猶太人ハ他國人ト同様市民權及經濟的活動ノ完全ナル自由ヲ享有シツツアリ日本及滿洲國內ニ於テハ少數民族ヲ迫害スルコトナク又民族ノ道德的長所ヲ尊重シ且一般人類文化發達ノ自由ヲ認メツツアリ

滿洲國及日本領土ハ吾人猶太人ノタメ唯一ノ平和郷ニシテ此處ニ居住スル猶太人ノ平和且勤勉ナル民族ニトツテ國土ノ發展ニ對シ忠誠ナル市民トシテ全幅ノ努力ヲ傾注シ來レリ

世界ニ偉大ナル教書即チ聖書ヘ世界ノ教化並文化ニ貢獻セル民族ノ子孫タル極東ノ猶太人ハ猶太人ニ對シ正義及公正ナル立場ニ立脚シ且人道的ニ處遇セララルル滿洲國及大日本帝國ノ發展ニ喜ンテ協力スヘキナリ

極東各猶太人民會會議ハ偉大ナル日本帝國カ世界大戰當時「パレスチナ」ニ於ケル猶太國家ノ建設ニ關スル宣言ニ加盟シタルコトヲ回想シ茲ニ更ニ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スルモノナリ

本會議ハ日本及滿洲國カ現在ニ於テモ猶太人永遠ノ宿意達成ニ對シ援助ヲ與フルモノナルコトヲ確

信セントスルモノナリ

本會議ハ世界の罪惡ノ根源タル「コミンテルン」ト闘争シツツアル日本カ極東ニ於テノミナラス全世界ニ於テモ同様各民族ノ平和ト親睦ヲ齎スヘシト確信ヲ表ス

極東猶太人民會第一回會議ハ猶太全居留民ノ名ヲ以テ日本及滿洲國ノ好意アリ且公正ナル態度ニ對シ誠實感謝ノ意ヲ述ヘ兩國家及其全國民ノ福祉發展ヲ祈願シテ已マサルナリ

決議

猶太人民會議ハ日本及滿洲國カ猶太民族ノ利益ヲ擁護スルタメ本民會ヲ唯一ノ代表機關トシテ之カ結成ニ對シ十分ナル援助ヲ與ヘラレンコトヲ祈願ス

猶太人民會第一回會議ハ全猶太人民ニ日本及滿洲國ニ對シ自己ノ義務ヲ遂行シ日滿兩國民ト共ニ極東ニ於ケル日本及滿洲國ノ使命タル大家族主義的國家政策ノ援助ニ全力ヲ傾注スヘク提示ス

(外交史料館文書)

ユダヤ難民に理解を示した樋口の大会祝辞

樋口少将の十二月二十六日の祝辞は、国の内外に物議をかます程に素直なものであった。即ち、

本日哈爾賓、海拉爾、奉天、大連、上海、天津、神戸、齊々哈爾、滿洲里各重要都市ノ猶太民會代表者諸君ガ一堂ニ會セラレ現下日滿兩國ノ極東ニ於ケル地位ヲ確認セラレ將來極東在住猶太人

トシテ採ルベキ対日満態度ヲ明確ニセラレタルコトハ真ニ機宜ニ適シタル処置デアリ且又極東平和ニ対スル事大意表示トシテ衷心ヨリ欣快ニ堪ヘナイ次第デアリマス。由来猶太民族ト他民族トノ關係特ニ紛争ニ就テハ他ノ諸国ニ於テハ度々之ヲ見聞スル処デアリマスガ我等日本国民中ニ猶太民族ヲ混淆シアラザルノ故ニ我ガ日本ニ於テ未ダ曾ツテ猶太民族ニ関スル複雑ナル問題ガ起ラナカッタノデアリマス。

從ツテ我々トシテハ將來共ニ所謂猶太民族問題ニ対シテ極メテ公正ナル立場ニ於テ処理シ得ルコトヲ信ズルモノデアリマス。

我等ノ認識スル処ニ依レバ猶太民族ハ諸事研究心ニ富ミ極メテ勤勉デアリ特ニ經濟的乃至社会的方面ニ於テ偉大ナル能力ヲ有シ且科学的分野ニ於テ世界の貢獻ヲ致シタト信ズルノデアリマス。

サテ歴史の二猶太民族ニ対シ何等恩怨ナキ我等日本人ノ眼ニハ斯クノ如ク猶太民族ノ長点ガヨリ明瞭ニ映ズルノデアリマスガ欧州ノ若干国ニ於テハ可成重大ナル猶太問題ヲ發見スルノデアリマシテ彼等ノ指摘スル猶太民族ニ対スル難点ハ物質主義的デアリ國際主義的乃至社会主義的デアリ將タ又非同化的デアルトナスノデアリマス。然シ乍ラ私ハソレガ仮ニ事実ナリトスルモ夫等ハ猶太民族ガ數千年ノ久シキニ亘ツテ国家ヲ失ヒ各民族間ニ無限ノ苦悶ヲ続ケ來レルコトヨリ發セル後天的現象デアツテ先天的性質ヲ有スルモノトシテハ宗教的影響乃至強キ民族主義ニ基ク非同化的性デアルト信ズルモノデアリマス。我等日本民族モ亦非同化的性ノ理由ニヨツテ在外移民トシテ從來往々非難ヲ受ケ來ツタノデアリマス。此ノ点ハ日、猶兩民族共ニ一応ノ反省ヲ要スルモノト考ヘマス。從ツテ若シ猶太民族

ノ強キ民族精神ガ完全ナル祖国復興ニ依リテ満足セラルルカ然ラズンバ各民族間ニ於テ猶太民族ガ客分トシテ主トシテ經濟的乃至科学的分野ニ於テ其ノ天分ヲ發揮スル如ク自他共ニ反省考慮スルトセンカ世界ニ於テ所謂猶太問題ナルモノガ容易ニ解消スルデアラウ事ヲ信セントスルモノデアリマス。

友邦滿洲国ハ所謂五族協和換言スレバ万民協和ノ精神ヲ其ノ建国ノ大理想トナスモノナルガ故ニ日本國同様之亦勤勉善良ナル猶太民族ノ個々ニ對シテハ充分之ヲ庇護シ平和ナル生活ヲ營マシメ共ニ王道樂土ノ平和郷建設ニ協力セシメン事ヲ切望シテ居ルト確信スルモノデアリマス。

又現在支那ニ於テハ不幸ニシテ日支同胞相關ツテ居リマスガ日本トシテ目指ス処ノ目標ハ支那指導者ノ容共排日思想ノ打倒ニアルノデアツテ断ジテ支那四億民衆ヲ敵視スルモノデハアリマセン。然ルガ故ニ現ニ此ノ思想ニ躍ル軍閥ノ掃討セラレタル地方ニ於テハ民衆ノ自然的要望トシテ対日滿再認識ノ声ガ澎湃トシテ起リツツアル次第デアリマス。

以上日滿兩國ノ対民族觀念ヲ叙述シツツ私ハ本日諸子ニヨリ議決セラレタル貴重ナル決議ガ単ナル一個ノ空文ト化シ去ルコトナク着々実行ノ上ニ顕現セラレ新極東ノ建設ノ上猶太民族トシテ偉大ナル歴史の貢獻ヲ致サンコトヲ期待セントスルモノデアリマス。

「石樋口少将ノ祝辞ハ場内ニ多大ノ感銘ヲ与ヘ出席全猶太人ノ感謝感激ハ会場破レン許リノ拍手ヲ以テ迎ヘラレ流涕スルモノアリ」

（海軍軍令部第3部編『極東猶太人民会代表會議第一回會議詳報』昭和十三年二月十七日、外務省外交史料館所藏「民族問題關係雜件」防衛研究所庄司潤一郎氏提供）